

アーカイブへのアクセス

—日本の経験、アメリカの経験

《日米アーカイブセミナー2007の記録》

小川千代子・小出いずみ 編

A5・320頁 定価(本体3,800円+税)

ISBN978-4-8169-2136-0 2008年9月刊行

「公文書管理法」制定を見据えて

■公開フォーラム「日米アーカイブセミナー 歴史資料へのアクセス：日本の経験、アメリカの経験」(2007年5月9日～11日 於：東京大学山上会館)で発表された、日米アーキビスト(日本人研究者11名、外国人研究者8名)の最新報告。

■日本政府が最重要施策の一つに公文書館の整備拡充を置く今、アーカイブの公共性と、利用者の資料へのアクセスの確保を、日米両国の経験を踏まえて提言しています。

■キーワードから引ける「事項名索引」付き。

【目次】

- 第1章 アーカイブと公共性
歴史の教訓—日本近代史における歴史の「誤用」について
加藤陽子
- 第2章 アクセスの枠組み
NARAにおける米国政府記録へのアクセス
デイビッド・メンゲル
- 第3章 アーカイブの設置
決定的な不在—アーカイブズ戦略における異見
富永一也
- 第4章 アーカイブ資料の共有化
大学アーカイブの現実
吉見×小川 対談
- 第5章 アーカイブ資料の保存
ビジネス・アーカイブへのアクセス—米国の場合
ベッキー・タウジー&エリザベス・アドキンス
- 第6章 アーカイブへのアクセス—利用者の経験
利用者から見た日本の文書館資料へのアクセス
フィリップ・ブラウン
- 第7章 日米をつなぐアーカイブ
日米のアクセスを比較して
古賀崇
- 第8章 国際関係の中のアーカイブ
外交課題と資料アクセス
小出いずみ
- 第9章 歴史をつむぎ、歴史をつくるアーカイブ
誰のため、何のためのアーカイブか?
—「残す」ということ—
小川千代子

*…など、日本人・外国人研究者の研究・報告(19編)を収録

2017.2

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	アーカイブへのアクセス —日本の経験、アメリカの経験 《日米アーカイブセミナー2007の記録》 定価(本体3,800円+税) ISBN978-4-8169-2136-0	冊
		■お名前	